

木質ペレットと環境問題



資源循環型社会

NPO法人庄内エコ・プランニング

齋藤 安和

私ども「庄内エコ・プランニング」は、資源循環型社会の実現を目指して、今年四月に立ち上げ、七月に認証を受けたNPO法人である。現在、約百名の会員で、民間企業の人、大学の先生、行政関係者などさまざまな分野の人が参加しているが、根本には「環境を良くしたい」という共通の思いがある。

現在、私どもは未利用木材や廃棄木材を資源化するために、木質ペレットに取り組んでいる。木質ペレットの製造過程は、まず、原料となる木材を破砕して、「おがくず」にする。次に、「おがくず」を乾燥機にかけて乾燥させ、それをペレタイザーにかける。ペレタイザーとは、ドラムに六〜八ミリの程度の穴があいていて、そこに乾燥させた「おがくず」を入れ、熱をかけながら高速で回転させるもの。で、「おがくず」に熱が加わると、木質成分の中のリグニンという物質が徐々に溶け出し、「おがくず」が固まり始める。そして高

速で回転しているドラムの遠心力で棒状に固まって穴から出てくる。これが木質ペレットである。すべて木質だけで造られる（写真参照）。

木質ペレットの熱量は、約四千二百キロカロリ/kgである。同等量の灯油が約一万三百キロカロリぐらいであるが、仮に灯油が六十円/kgだとすると、木質ペレットが二十円/kg程度であれば熱量換算で見れば割安である。

問題は、木質ペレットを二十円/kg程度の価格にするには、どうしたらよいかということである。それには、地元で製造し、地元で消費する「地産地消」にすることである。遠方で製造して輸送費をかけて持ってきたのでは、逆に、灯油よりも割高になってしまう。誰でも採算性を考えるから、いくら環境のために良いとはいっても、わざわざ燃料費を増やすようなことはできない。

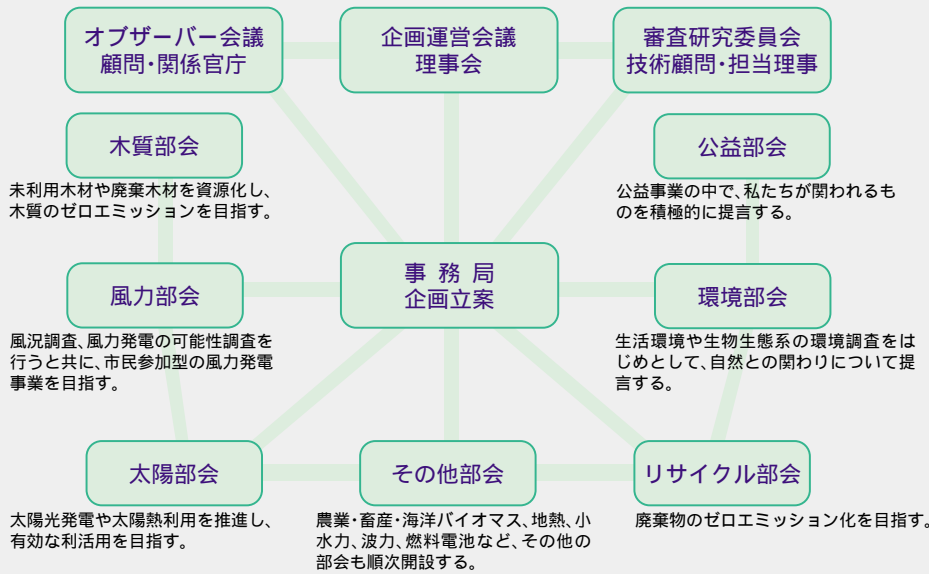
幹の部分が大きい原料で製造する白いペレット（ホワイトペレット）は、燃焼後の廃残物の量は1%以下である。また、廃残物の中にはカリウムが多く含まれる。

昔の人々は生活の中で木を燃やしていたので、生活の中から灰が自然に出てきた。それをカリウム剤として農地にまいていた。それによって土地のバランス、地力を保っていた。昔、薪を燃やしたように主燃料を木質ペレットにして、石油の代替に使ってもらえれば、当然、灰が出るから、それを地力を高めるために使うという循環にしたい。灰を森にまけば、森の地力が高まって木々が生長する。成長した木を切つて、また木質ペレットを造る。こうしたことによって木質の循環ができれば非常によい。

今、最も問題意識を持っているのは、環境税（炭素税）のことである。環境省では来年度、CO₂排出量の抑制分を

Value Sight 資源循環型社会

庄内エコ・プランニング 事業企画運営組織図



五十円/kgで購入するとしている。その対象として確定しているのがNPO法人だけである。NPO法人の中でCO₂の排出を抑制したところは、環境省と契約を締結して抑制分を環境省に売ることになる。

従来、重油ボイラーを使用していた企業がそれに代えて木質ペレットボイラーを導入し



木質ペレット

て、私どもが販売する木質ペレットを燃焼させれば、木質ペレットはカーボンニュートラルでCO₂排出量はゼロと換算されるので、その企業のCO₂排出量が抑制され、抑制分のCO₂に関して五十円/kgで環境省に売ることが出来る。仮に、五十円のうち私どもが十円いただいで残り四十円をその企業に還元すれば、大きなメリットである。家庭用のストーブでも同じことである。

環境省がそのような施策を実施するのであるから、私どももそれにかかり成功させることができれば、木質ペレットの普及が加速

されると考えられる。

「庄内エコ・プランニング」は、その名が示すとおり環境のためのプランニングをするNPO法人である。

私どものメンバーが各部会で集まると、会社に勤務している会員の中からおもしろいアイデアがたくさん出てくる。一般の企業の皆様に対して、私どもは知恵を提供する場として機能しようとするものであるから、そのつもりで「庄内エコプランニング」を利用していただきたい。

私どもには環境に関するアイデアが豊富にあるので、「何か良いアイデアはないか?」と問いかけただけであれば、お出できるものはすべてご提供する。その中から関心を持っていただけるものを引き出して、各企業で実行していただければよい。環境に関する事業でお力になれるのであれば、いくらかでもご協力する用意がある。是非、ご相談いただきたい。

齋藤 安和

NPO法人
庄内エコ・プランニング 事務局長。
昭和30年2月 鶴岡市出身。

問い合わせ先
〒998-0005
酒田市大字宮海字中砂畑27-9
NPO法人
庄内エコ・プランニング
TEL 0234-35-0227
FAX 0234-35-0228